

平成 30 年 8 月 7 日

関係機関 各位

公益社団法人岡山県医師会

会 長 松山 正春

副会長 大原 利憲

(公印省略)

岡山県医師会消化管検診研究会講演会のご案内

時下ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素は本会の事業活動につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて このたび本会では 2 名の講師をお招きして標記講演会を開催することとなりました。テーマとして「上部消化管腫瘍の内視鏡診断」、「胃がんハイリスク診断と胃内視鏡検診」についての問題点、注意点等を詳しく解説して頂きます。

関係機関におかれましても胃がん検診のあり方について議論されているとは存じますが、この講演はその一助になるものと考え是非、ご聴講して頂きたいと思っております。駐車場は有りませんので当日公共交通機関をご利用願います。

なお、参加費については無料です。

敬具

記

日 時：平成 30 年 9 月 1 日（土）14:00～17:00

場 所：岡山県医師会館 三木記念ホール

内 容：別紙参照

以上

岡山県医師会事務局

地域医療課

担当：宮本

TEL086-250-5111FAX086-251-6622

岡山県医師会消化管検診研究会講演会

日時:平成30年9月1日(土)14:00~17:00

場所:岡山県医師会館 三木記念ホール

開会挨拶 岡山県医師会 会長 松山 正春

講演 I 14:05~15:20(質疑応答を含む)

演題「上部消化管腫瘍の内視鏡診断」

講師:国立がん研究センター先端医療開発センター

内視鏡機器開発分野長・内視鏡科医長 小田 一郎 先生

胃内視鏡検診は、日韓の症例対照研究により胃がん死亡率減少効果確認されたことから、「有効性評価に基づく胃がん検診ガイドラン 2014 年度版」において、対策型検診の新たな方法として推奨され、近年、導入が行われてきている。本講演では、見落としのない胃内視鏡検査のコツについて述べる。

講演 II 15:30~16:45(質疑応答を含む)

演題「胃がんハイリスク診断と胃内視鏡検診」

講師:埼玉医科大学総合医療センター消化器・肝臓内科

教授 岡 政志 先生

胃がん検診は、内視鏡検診が国から認められ今後内視鏡を受ける人が増加すると考えられるが、マンパワーの問題から全ての被験者に内視鏡検診を行うのは困難である。Helicobacter pylori の未感染者が若年層に増加しており胃がんリスクの低い層も増えてきている。血清 HPIgG 抗体価と血清ペプシノゲン法を組み合わせた胃がんリスク診断はこれから有用性が増加すると考えられる。現状と問題点について論じたい。

※日医生涯教育講座単位：3単位

講演 I 11 予防と保健 (1単位)、53 腹痛 (0.5単位)

講演 II 11 予防と保健 (1単位)、50 吐血・下血 (0.5単位)

生涯教育チケット帳を持参お願いいたします。

また、日本内科学会認定総合内科専門医更新の2単位(予定)が認定されます。

※本講演会は、「岡山県消化管精密検診施設」更新に関わる講演会(年1回出席)に認定されていますので消化管精密検診委嘱施設の方は聴講をお願いします。

会員施設のコ・メディカルの方も奮ってご参加下さい。講演 I、講演 II とも講話後、質疑応答を受けます。

※託児希望の方は岡山県医師会 HP より生涯教育⇒託児申込書をダウンロードをして8月24日(金)まで FAX でお申込をお願いします。FAX 086-251-6622